

2023年2月8日

各位

会社名 株式会社SANKYO
 代表者名 代表取締役社長 石原明彦
 (コード番号 6417 東証プライム)
 問合せ先 常務執行役員 管理本部長 高橋博史
 (TEL. 03-5778-7777)

2023年3月期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、2022年10月17日に公表した2023年3月期通期業績予想及び2022年5月12日に公表した配当予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

(1) 2023年3月期 通期連結業績予想数値の修正

(2022年4月1日～2023年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益 (円)
前回発表予想 (A)	135,000	45,000	46,000	35,000	602.71
今回修正予想 (B)	155,000	55,000	56,000	45,000	774.91
増減額 (B-A)	20,000	10,000	10,000	10,000	—
増減率 (%)	14.8	22.2	21.7	28.6	—
(ご参考) 前期実績 (2022年3月期)	84,857	21,357	22,257	18,466	305.06

(2) 修正の理由

パチンコ機関連事業につきましては、ブランド力向上により販売シェアを大幅に拡大した第2四半期までの流れが継続し、第3四半期に販売したB i s t yブランドのパチンコ機「ゴジラ対エヴァンゲリオン ～G 細胞覚醒～」が二大コンテンツのコラボレーションの実現で大きな話題となり、約50千台の販売を記録するなど、引き続き好調に推移しました。続く第4四半期におきましては、電子部品不足の影響、及びパチスロ市場の改善による短期的なパチスロ機への需要シフトを想定し、パチンコ機の計画台数を慎重に見積もっておりましたが、それらの影響を最小限に抑え販売状況が好調に推移していることから、パチンコ機の販売台数が前回発表予想の250千台を上回り、268千台程度となる見通しです。

一方、パチスロ機関連事業につきましては、第3四半期に投入したスマートパチスロ機第一弾、SANKYOブランドの「L革命機ヴァルヴレイヴ」が、導入後高稼働をキープしており、第4四半期において増産対応を行うなどの大ヒットとなり、当社グループのパチスロ市場での存在感の向

上に大きく貢献しております。また、2023年3月導入予定のB i s t yブランドのパチスロ機「パチスロ機動戦士ガンダムユニコーン」が順調に受注を積み上げていることから、パチスロ機の販売台数は40千台から51千台となる見込みであり、パチンコ機・パチスロ機ともに前回発表予想の販売台数を上回る見通しとなりました。

この結果、売上高及び各利益が上記の通り前回発表予想を上回る見通しとなりました。

2. 配当予想の修正

(1) 2023年3月期 期末配当予想修正の内容

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
前回予想 (2022年5月12日発表)	—	60.00円	—	60.00円	120.00円
今回修正	—	—	—	90.00円	150.00円
当期実績	—	60.00円	—		
(ご参考) 前期実績 (2022年3月期)	—	50.00円	—	50.00円	100.00円

(2) 修正の理由

当社では、株主の皆さまへの利益の還元を経営上の最重要課題のひとつとして位置付けており、配当金につきましては、業績、財政状態、配当性向などを総合的に勘案した上で、安定的かつ継続的な配当を行うことを基本方針としております。

2023年3月期の期末配当予想につきましては、上記の基本方針と業績予想の修正を踏まえ、前回予想から30円増額し1株当たり90円に修正いたします。これにより、中間配当金60円を含めました当期の年間配当金予想は、1株につき150円となります。

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上